



大飯原発直下の断層は「活断層」？

大飯原発に活断層？

変動地形学の渡辺光久教授は、大飯原発三、四号機の建屋の間にあるF6破碎帯に活断層の疑いを呈している。それによると、

耐震設計審査指針が改訂された為、二〇〇六年に審査の見直しが行われた。その時一九八五年にトレンチ（溝）を掘って地質調査をした時の南側の断面の地質図だけが提出された。それには活断層の特徴はなかった。しかし、提出されなかった北側断面の地質図には典型的な活断層が見られる。どちらかの図が間違っているか、北と南で注目した断層が別の物。掘って調べよ。

再調査を指示

こうした指摘を受け

て、経済産業省原子力安全・保安院は「過去の安全審査に使った写真が不十分なため」再調査を関西電力に指示。

活断層かも

ちょっと待て。過去の安全審査が不十分なら「活断層では無いとはつきりするまで安全とは云えない。それまでは原発は稼働するな」と云うべきではないか？

容疑者に調査を依頼？

安全審査の時に活断層が見られる北側断面を提出しなかった関西電力は真相を隠した疑いがある。その容疑者に、「再調査せよ」っておかしいんじゃないか？

皆さんはどう思われますか？

大須新天地

(名古屋市)



名古屋の大須商店街はとても賑やか。街には、若い人も多い。繁栄の秘密を学ぼうと各地の商店会が見学に来ると云う。

名古屋の知人と共に、この通りの奥まった所にある名古屋名物「ひつまぶし」の店に行つた。「櫃」のご飯の上に鰻の蒲焼きを刻んで載せたので「櫃まぶし」だそう。

関東と違い鰻を蒸さないで焼くので身がしまっていて香ばしい。

しかし、この「ひつまぶし」何故か、私の頭には「ひまつぶし」と入ってしまった。「ひまな人が名古屋には多いのか？それにしても『暇』をメニューにするとは驚き」と勝手に思っていたら、名古屋の知人も、最近まで「ひまつぶし」と思い込んでいたとか・・・。

来週はお休みします